

# 神奈川の こくほ・かいご

始めよう健康習慣 受けてみよう特定健診



源氏山公園(源頼朝像) 写真提供:公益財団法人 鎌倉市公園協会

新年の  
ごあいさつ

神奈川県国民健康保険団体連合会  
理事長 内野 優

国民健康保険中央会  
会長 岡崎 誠也





神奈川県国民健康保険団体連合会  
理事長 内野 優

## 新年の ごあいさつ

新年あけましておめでとうござい  
ます。  
理事長の海老名市長内野でござい  
ます。  
令和5年の新春を迎え、一言ご挨拶  
を申し上げます。  
皆様には日頃から本連合会の運営  
に對しまして、ご支援とご協力をい  
ただいておりますことに厚く御礼を  
申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症に  
ついては、昨年感染拡大が続き、本  
県におきましても、医療提供体制がひ  
っ迫の危機に直面するなど、その影響  
を大きく受けましたが、感染防止対策  
の徹底やワクチン接種などを行いな  
がら、コロナ前の日常を取り戻す取組  
みが進められております。

これもひとえに、医療関係者の皆  
様や保険者の皆様をはじめ、感染症  
対策にご尽力をいただいている全て  
の皆様のお陰であると改めて感謝と  
敬意を表する次第です。

そうした中で、本会は、新型コロナ  
ウイルス感染症に関する取組みとし  
て、住民の皆さんが住所地外の医療  
機関等でワクチン接種を受けた場合  
に要する費用の請求支払事務を令和  
3年4月から行っており、オミクロ  
ン株に対応したワクチン接種の請求  
支払事務につきましても、引き続き  
実施しているところであります。

今後も関係者の皆様とともに、新  
型コロナウイルス感染症対策のため  
の支援にも全力で取り組んでまいり  
ますので、ご理解、ご協力をお願い  
いたします。

さて、少子高齢化と人口減少が進  
む中で、国保を取り巻く状況は、被保  
険者数の減少や低所得者の増加とい  
った構造的な問題が依然として続い  
ており、加えて新型コロナウイルス  
感染症の影響も重なり、さらに厳し  
さを増しております。

こうした状況の下、本会といたし  
ましては、国保事業の目的を達成す  
るために必要な事業を行うという本  
会の設立目的を踏まえ、診療報酬等  
の審査支払業務や保険者事務電算共  
同処理事業等の実施を通じて、引き  
続き良質なサービスを効率的に提供  
することを基本的に業務運営に努めて  
まいる所存です。

とりわけ、診療報酬等の審査支払業  
務については、「国保審査支払業務充  
実・高度化基本計画」を踏まえ、コン  
ピュータチェックによる審査の拡充  
や、全国の共通ルールによる審査基準  
の統一化について、本会に設置する  
「国保診療報酬審査委員会」と連携を  
取りながら推進し、効率的かつ効果的  
な審査を実施してまいります。

加えて、令和6年度以降に順次迎  
える本会の基幹業務を支える全国標

準システムの更改作業についても、  
国保中央会と連携を図り、着実に準  
備を進めてまいります。

また、保険者支援の充実・強化が  
求められている中で、保健事業支  
援・評価委員会によるデータヘルス  
計画等に対する助言や、保険者努力  
支援制度に係る「KDBシステム」の  
機能を活用したデータ分析、第三者  
行為求償事務の推進など、保険者等  
が取り組む医療費適正化対策の支援  
にも積極的に努めてまいります。

最後になりますが、コロナとの共存  
を前提とした「新たな日常」が定着し  
つつある状況の中で、このコロナ禍を  
契機に、社会全体のデジタル化の必要  
性が改めて強く認識されております。  
本会におきましても、こうした社  
会変革の動きをしっかりと捉え、本  
会が担う各種業務のより一層の合理  
化・効率化に努めてまいります。

保険者の皆様方におかれまして  
は、引き続き本会の事業運営につ  
きまして、ご理解、ご協力を頂きま  
すようお願い申し上げます。  
そして、新年のごあいさつと  
いたします。





国民健康保険中央会  
会長 岡崎 誠也

## 新年の ごあいさつ

新年あけましておめでとようござい  
ます。

令和5年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

皆さまには日頃から国保中央会の運営に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行については、感染拡大防止対策と社会経済活動の両立に向けて、国において取組が進められているところですが、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されるなど、未だ不透明な状況の中、最前線で治療や感染防止策に懸命に取り組んでおられる国保直診施設をはじめとする医療機関等や自治体関係者などの皆様のご尽力に深く敬意を表します。

さて、少子高齢化の進展と生産年齢人口の減少に歯止めがかからない中で、国においては、全ての世代で安心できる全世代型社会保障制度の確立を目指し、様々な改革が進められているところ です。

一方、都道府県をはじめとする各地方自治体では、本年は、2024年度から開始となる医療費適正化計画、健康増進計画、医療計画、介護保険事業（支援）計画及び障害福祉計画等を策定する節目の年であり、今後地域の医療・介護・福祉体制を整備

していくうえで、大変重要な一年となります。

特に、医療分野においては、行政サービスとのデジタル化の推進として、本年4月から保険医療機関等においてオンライン資格確認等システムの導入が義務付けられるとともに、2024年秋にはマイナンバーカードと健康保険証の一体化を目指すこととされています。

本会は「医療保険情報提供等実施機関」として、社会保険診療報酬支払基金とともに、このシステムの開発と運用に携わっておりますので、今後も国の動向を注視し、これらの取組の普及・促進の一助となるよう努めるとともに、医療DXなどのデータヘルズ改革の推進等に積極的に対応してまいります。

また、審査支払機能改革工程表に基づき、医療保険における審査基準の統一化や審査支払システムの支払基金との共同開発・共同利用を推進するとともに、介護保険・障害者総

合支援システムの開発・運用、更には、新型コロナウイルスワクチン費用の請求支払業務など、様々な地方自治体事業の支援に取り組んでまいります。

本会といたしましては、全国の国保連合会の皆様とこれまで以上に一体となり、全国知事会、全国市長会、全国町村会をはじめとする地方団体や国保組合、後期高齢者医療広域連合などの関係団体とも十分に連携を図りながら、医療費の審査支払はもとより、国保データベース（KDB）システムを活用した保健事業や様々な事務処理システムの開発・運用など、保険者の皆様の業務支援に総力をあげて取り組む所存でありますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

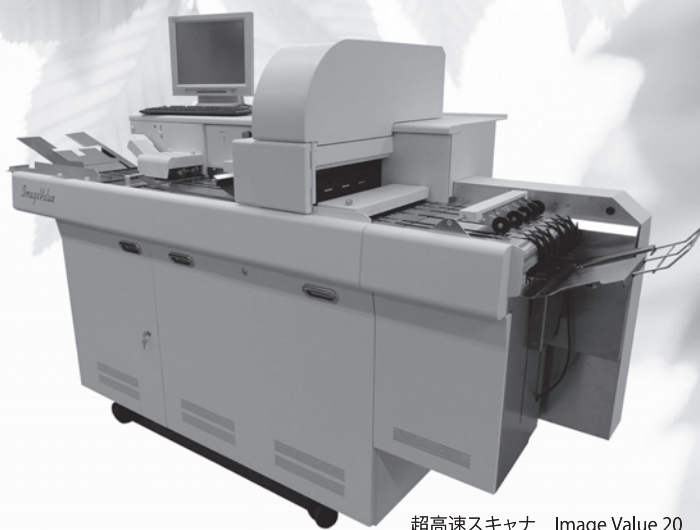
結びに、コロナ禍を乗り越え、新しい年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となることを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和5年 元旦



# 事務処理の智能化で、 人も組織も改革できる。

—すべてを変えるAI&RPAソリューション—



超高速スキャナ Image Value 20

イメージ活用による業務システムの集約・統合という  
コンセプトに加えAIやRPAによるさらなる省力化やBPO化など  
ソリューションとサービスを融合した最適化のご提案をいたします。

**primagest+**

**株式会社プリマジェスト ソリューションビジネス本部**

営業統括二部 営業一部

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館12F  
TEL: 044(578)5122

<http://www.primagest.co.jp/>



もくじ

- 01 新年のごあいさつ  
神奈川県国民健康保険団体連合会  
理事長 内野 優
- 02 新年のごあいさつ  
国民健康保険中央会  
会長 岡崎 誠也
- 05 保険者紹介コーナー  
鎌倉市  
「海と山の美しい自然環境とゆたかな  
歴史的遺産をもつ 古都 かまくら」
- 09 健康わがまち  
湯河原町  
「町民が自ら健康になる力を後押しする」
- 11 日本大通り発  
神奈川県健康医療局保健医療部医療保険課  
保険者指導グループ  
「令和3年度における国保事業会計  
収支状況について」
- 14 こころとからだ  
～健康のはなし～  
「健康行動を妨げるもの」  
松本 千明
- 15 こくほ随想  
「国際社会保障協会(ISSA)総会」  
樽見 英樹
- 17 国保直診だより
- 18 国保連発信
- 23 国保連日記帳
- 27 今後の予定／伝言板／編集後記

## ■ 表紙の説明 — 源氏山公園（源頼朝像）

源氏山は、源義家（八幡太郎）が奥羽の豪族安倍氏を攻める際、この山上に源氏の白旗を立てて戦勝を祈ったところから、源氏山、白旗山または旗立山とよばれるようになったと伝わります。

源氏山公園は緑豊かな自然に囲まれ、すぐわきには鎌倉の七切通しの一つで国の史跡でもある化粧坂があり、園内には源頼朝像・広場などがあります。

春には桜、秋には紅葉が楽しめ、北鎌倉、大仏へぬけるハイキングコースがあり、近くには葛原岡神社、銭洗弁財天、佐助稲荷神社があります。

鎌倉駅西口改札から徒歩約20分です。駅から公園へ向かう途中には長い坂があり、園路は起伏が多いため、歩きやすい靴でのお越しをお勧めします。



写真提供：公益財団法人 鎌倉市公園協会



保 険 者

紹 介

コ ー ナ ー

# 鎌倉市

海と山の美しい自然環境と  
ゆたかな歴史的遺産をもつ  
古都 かまくら



荏柄天神社 © 鎌倉市役所写真友会



江ノ電と富士山 © 鎌倉市観光協会



二ノ鳥居 © 鶴岡八幡宮



高德院大仏 © 鎌倉市観光協会



明月院「鎌倉」プロモーションフォトコンテスト2022「雪の悟りの窓」  
© 鎌倉市観光協会



冬の由比ヶ浜海岸 © 鎌倉市観光協会



鎌倉市

## 鎌倉市 概要

(令和4年10月1日現在)

- 人 口：172,428人 (男 80,974人、女 91,454人)
- 世帯数：76,939世帯
- 面 積：39.66km<sup>2</sup>
- 市の花：リンドウ
- 市の木：ヤマザクラ





## ■市の概要

鎌倉市は、源頼朝をリーダーとする武家が、日本で初めての武家政権を樹立し、それまでの貴族支配に替わる武家の支配を築いた歴史がある場所です。幕府を開いた頼朝は、幕府の組織を整えるとともに都市づくりを開始しました。都市づくりがほぼ完成した1230年ころになると、幕府は全盛期を迎え、鎌倉は政治、軍事、外交、文化などあらゆる面で日本の中心地となりました。当時の築港である和賀江島を通じて中国の宋や元との交易が盛んに行われ、禅宗、禅宗様建築、仏像彫刻、彫漆など様々な中国文化がもたらされました。それらは長い年月のなかで守り続けられ、今日でも中世の社会を支えた繁栄の歴史と華やかな文化を伝えています。

## ● 国 保 ●

### ■国保の概要・実施体制

本市の国保加入者数及び世帯数は、令和4年9月末日現在で、3万4340人、2万3485世帯で加入率はそれぞれ19・92%、30・52%となっています。

保険年金課は、国民健康保険担当、医療給付担当、年金担当の3担当体制で、国民健康保険事業は職員18名、会計年度任用職員12名で対応しています。他に、特定健診・特定保健指導等の業務のため、市民健康課に兼務職員がいます。

### ■保険財政の状況

令和3年度の国民健康保険事業特別会計決算は歳出が約166.2億円(前年度比 約5.7%増)、歳入が約168.6億円(前年度比 約4.5%増)となりました。

歳出について、令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えの反動により、保険給付費が約108億円となり、前年度に比べ5.1%増加しました。被保険者数は減少傾向にあるものの、医療の高度化や被保険者の高齢化等の理由により一人当たりの医療費は増加傾向となっています。

今後も保険給付費や納付金の増加が見込まれる中で、財政運営健全化に向けて、基金等を活用して毎年度の適切な予算編成を行い、保険料賦課の適正化、保険料収納率向上対策、被保険者資格適用の適正化、医療費適正化・保険給付の適正化、保健事業等の充実、強化を図ってまいります。

### ■保険料収納率向上対策

本市の令和3年度分の国民健康保

険料の収納率は、現年度分が95.08%(前年度比0.03%減)、滞納繰越分は27.05%(前年度比1.81%増)となっています。

保険年金課国民健康保険担当において賦課、収納、滞納整理までの一連の事務を行っています。初期段階で滞納者を減らすために、早期に催告等を行うとともに、長期または高額滞納者へは、文書、電話、被保険者証の更新時などで説明、折衝を続ける一方、滞納処分についても実施し、公平性の確保に努めています。また、高額・長期滞納者及び市税等の他債権との重複滞納者については、徴収業務を専門に取り扱う納税課債権管理担当へ移管を行っています。

納付環境の整備としては、ペイジー口座振替受付サービスにより、金融機関へ出向くことなく国民健康保険加入時などに市窓口で口座振替申込みを受付けています。また、平成25年度からコンビニ収納を開始、令和3年8月からPayPayやLINE pay等電子マネー決済、令和4年1月からモバイルレジ(アプリケーション)を紹介したクレジットカードでのキャッシュレス決済も導入して納付者の利便性の向上を図っており、今後も収納率の向上を目指します。

### ■特定健診・特定保健指導

本市では、特定健診に関連する事業を市の重点事業に位置付け、未受診者への受診勧奨の推進や保健指導の実施等により、生活習慣病の重症化予防の取組を強化しています。

特定健診の受診券は3期に分けて個別送付していますが、実施期間内であればいつでも受診可能としています。満40歳となる方には、受診券の送付後、受診勧奨はがきにて内容や必要



保険年金課



大仏ハイキングコースから © 鎌倉市観光協会



# 保険者 自慢

## 鎌倉歴史文化交流館

鎌倉歴史文化交流館は、発掘された出土品をメインに、原始・古代から近現代に至る歴史を紹介している博物館です。ジオラマ等の映像展示もあり、源頼朝が建立した永福寺の大伽藍を再現したVRもご覧いただけます。著名な建築家ノーマン・フォスター氏の設計事務所が手がけた個人住宅をリノベーションした建物で、庭園、高台からの海の眺望も見どころです。令和4年は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で北条義時と13人の重臣たちが話題となりました。当館では企画展「北条氏展vol.4 北条義時の子どもたち」を3月11日(土)まで開催中です(休館日:日曜・祝日、展示替休館12月29日(木)～1月10日(火))。北条一門のゆかりの品々を通じて、北条氏の足跡を紹介します。



性を伝えています。また、継続受診者の増加を図るため、健診受診の2か月後に「健康づくりアドバイスシート」を送付し、健診結果の経年比較やレターチャート、グラフにより健康状態を分かりやすく確認できるようにしています。令和3年度からは、未受診者に対するAI・ナッジ理論を活用した受診勧奨を始め、新型コロナウイルス感染症による受診控えも懸念されましたが、特定健診受診率は34.3%と前年度より5.5ポイント増加しています。また、これから特定健診の受診対象となる20歳から39歳の方に対して、早期から生活習慣病予防の意識をもち生活改善へつなげてもらうため、スマホドック(血液検査キット健診)を実施し、20歳と30歳は無償化しています。さらに、人間ドック利用者には特定健診と同額の費用助成制度があります。

特定保健指導利用率は、令和3年度27.3%と前年度より1.4ポイント増加しました。動機付け支援は、市医師会へ委託し、健診結果の説明と同時に実施することで、受診者の利便性を図っています。積極的支援においては、健診結果の説明時に「レッドカード(積極的支援利用勧奨ちらし)」を配布できるよう、市医師会と連携しています。積極的支援では複数のコースから選択ができ、コロナ禍での保健指導対策としてICT機器を活用したコースもさらに充実させています。また、「健康づくりアドバイスシート」送付にあわせ、電話による個別勧奨を実施し、電話でのフォローも続けています。

また、令和3年度から新たな健康ポイント事業「古都をトコトコ鎌倉健康歩(ポ)イント」を開始しました。専用アプリで歩数やログイン回数

ほか、特定健診結果によってはポイントが加算され、貯めたポイントで景品獲得ができるものです。特定健診の結果の閲覧機能や、将来の疾患発症率のシミュレーション機能などにより、「健康の見える化」をサポートします。

このほか、糖尿病の重症化予防のため、特定健診の結果から受診勧奨を行うほか、特定健診実施医療機関及びかかりつけ医と連携した糖尿病の受診勧奨及び保健指導利用勧奨を実施しています。

### ■医療費適正化

#### 保険給付の適正化対策

医療費適正化・保険給付の適正化対策については、レセプト点検や、重複薬剤投与者への指導、セルフメディケーションの推進やポリファーマシーに関する周知と啓発、医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知の送付等を実施しています。

## ● 介 護 ●

### ■介護保険の状況と課題

本市の高齢者人口は、住民基本台帳ベースで、令和4年3月末時点で約5万3700人であり、高齢化率は30.3%になります。認定者数は約1万1200人であるため、認定率は約20.9%になりますが、これは全国平均を大きく上回っており、その要因は後期高齢者人口が約3万1600人(高齢者人口比で58.8%)という、非常に高い割合にあるためと考えます(調整済み認定率は18.3%と、全国平均を下回ります)。

今後5年程度の高齢者人口の推移は微減から横ばいと推測しています。が、後期高齢者人口に限ると増加する



アルツハイマーデー本庁ロビー



介護保険課





認知症サポーター養成講座 市内小学生



かまくらシニア健康大学 おうちでできるヨガ

ことが見込まれ、本市の認定者の90%以上が後期高齢者であることから、認定者数も益々増加していくことが確実なため、この状況に対応するための体制整備が課題と考えます。

一方で令和3年11月時点の数値ですが、新規で認定を受けた方の平均年齢は82.3歳と全国平均よりも高く、また、そのうち要支援1から要介護2の軽度認定を受けた方の割合は83.3%と高い状況にあり、このことは本市の介護予防事業や認知症施策等が功を奏しているのが一因と思われます。そのため、今後も高齢者の方々が出来る限り長く健康に過ごせるよう、引き続き介護予防事業等の取組を推進していきます。

### ■ 介護予防事業等の取組

#### ① 介護予防教室

みんなで学ぼう「かまくらシニア健康大学」では、総論として『自立した高齢期をおくるためのフレイル予防』から始まり、毎月1回、「前を向いて美しく歩く」「元気な時こそ考えたい、人生の最終段階」等、様々なテーマで講演会を実施しています。「色々な内容が聴けて毎月が楽しみです」「自分のため、家族のため、地域活動のため」と好評を得ています。その他、運動をメインとした「からだの元気アップ教室」、フレイルチェックと個別指導の「からだの元気度チェック」、まずは体験してみよう「月いち元気アップ教室」を開催しています。また、3か月間、スポーツジムを自由に使える「65歳から始める運動習慣」もあります。複数のプログラムを設けることで、ご自身の関心や身体の状態に合わせて参加いただくことができます。後期高齢者健診を受診した医療機関や地域包括支援センターか

らの紹介、家族や友人からのお誘い等、本事業も周知されてきています。

#### ② 地域介護予防活動団体支援事業補助金

健康づくりや運動に取り組み自主活動団体に活動補助金を交付しています。ヨガやストレッチ・太極拳等、様々な取組をする約70団体が対象です。さらに、希望する団体には骨密度や体組成等の健康チェックや体力測定を実施する他、理学療法士や歯科衛生士を派遣し、普段の活動にプラスアルファのエッセンスを吹き込んで、専門的なアドバイスを行う等の支援をしています。

#### ③ 認知症サポーター養成講座

認知症にやさしい地域社会を目指して、誰もがなりうる認知症について、他人ごとではなく、自分や家族のことと思ってもらえるよう、様々な年代、職種の方を対象として、サポーター養成講座を開催しています。受講者の声をご紹介します。「やさしく声をかけたり、手を貸したりする人がまじ中にいれば、認知症の人も安心して暮らしていけることが分かりました。(小学生)」「定期的に講座を受講しています。店頭にはオレンジロバのシールを貼ってサポーターがいることをPRしています。(市内企業)」

◇ 介護保険課の保健師は市民健康課が兼務し、すべての年代の方の健康づくりを支援しています。これから、市民のみなさんの笑顔があらわれ、やさしいまちを目指して、様々な取組を継続していきます。

## 国保・介護 の 連絡先

- 鎌倉市ホームページアドレス  
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>
- (国保) 保険年金課  
国民健康保険担当  
TEL 0467(61)3954  
FAX 0467(23)5101
- (介護) 介護保険課  
介護保険担当  
TEL 0467(61)3948  
FAX 0467(23)7505





～ 町民が  
自ら健康になる力  
を後押しする ～

健康  
わがまち



湯河原町 保健センター  
保健師 佐藤 佳奈

「湯河原町」



海好き、山好き  
どちらも楽しめる  
豊かな自然と温泉の町

湯河原町は神奈川県の一歩西に位置し、隣は静岡県熱海市です。海や山、川もあり、温泉が湧く自然豊かな町です。

毎年2月～3月にかけて幕山梅林では、山の斜面に約4千本の紅梅、白梅がともきれいに咲き、県内外のお

客様でにぎわいます。夏は海水浴場が開き、海水浴やサーフィンを楽しむ方の姿が多くみられます。「海が見えるところに住みたい」と移住される方も多いです。

人口は令和4年11月1日現在2万3933人、令和3年度出生数は80人、高齢化率は42.25%で、県内トップです。

### 健康づくり&世代間交流の ラジオ体操

町民の力を実感している事業として、「ラジオ体操」があります。湯河原町では、ラジオ体操の普及に力を入れています。健康増進計画策定にあたってアンケート調査をした際、全世代で運動習慣が不足していること、特に学童・思春期で運動が嫌いな子が多いことがわかりました。対策を考えた時、スポーツを当てたのがラジオ体操でした。当時、町内3か所の公園で自主的に集まって朝のラジオ体操をしている方達がいました。そこに夏休みの子供たちを参加させ



てもらえないか依頼しました。加えて、どんなPRをすればよいか一緒に検討するメンバーになってもらい、今年度で5年となりました。

平成30年度に3か所だった会場は、令和4年度には6か所となり、参加者数も年々増えて、「夏休みはラジオ体操」という意識が浸透してきたと感じています。さらに、ラジオ体操



の効果は「運動不足の解消」に留まりません。「顔見知りが増えて子供たちに声をかけやすくなった」、「夏休みに自分で目覚ましをかけて早起きする習慣がついた」という声が聞かれています。「リジオ体操」ということから、生活習慣を整えることや世代間交流など、いくつもの健康行動に広がる様子に、地域の力、町民の力を感じています。

### 参加者だけでなく スタッフのスキルアップにも！ 体改革研究室

湯河原町の健康課題の一つが、血糖値が高い人が多いことです。そこで、糖尿病重症化予防事業として「体改革研究室」を平成28年度から実施しています。名前のとおり、自分の体の状態や生活習慣と向き合い、改善することで検査値がどれだけ変わるかを「研究する」教室です。特定健診でHbA1cの値が「糖尿病予備軍」となった人を対象にしています。

参加者は、まず自分が今どういう状

態で、なぜ教室に呼ばれたか、このまま放っておくとどう危険かを自身の検査値やこれまでの生活をグループワークで自ら語ることで実感していきます。そして自分の生活習慣の問題点を見つけ、どんな風に改善できるかをグループワークで一緒に考えます。半年間取り組んだ結果を、血液検査で確認します。

令和3年度は、参加者の87%が体重減少し、検査値を改善しました。参加当初はあまり積極的でなかった参加者も、グループワークを行う中でメンバーに影響を受け、参加回数を重ねる度に、生活改善意欲が高まる様子が見られました。これはインターグループワークの大きな力だと思えます。

生活習慣は、「自ら気づいて変えていく」ということが改善の肝だと思っています。「お酒が多いので減らして」、「間食を控えて」などと人から言われても、素直に受け入れることが難しいかもしれません。しかし、自分で見つけた問題に対して「これなら

できそう」「グループの仲間も頑張っているし、私も頑張ろう」と思えることが「生活を変えることができる」として、「検査値を下げる」ことができる」とつながると7年続けてきた中でわかってきました。

さらに、スタッフのスキルアップにもつながっています。当然ながら毎年参加者の課題や特徴が違ったため、「昨年と同じ」やり方は通用しません。個



人の食事記録や教室内での発言などをもとに、「嗜好品をもっと重点的にやる」「自動機付けとしてこの話を入れよう」、「この例なら受け入れやすい」と毎回スタッフで話し合いながら教室を作りあげています。根拠を明確にするために文献を探したり、実際地域のお店で売られている食材を確認するなど、より参加者に伝わる工夫を考えています。

参加者からは、「目から鱗だった」、「もっとみんな参加すればいいのに」、「おやつを食べようとした時にスタッフの顔が浮かんでやめた」などの声を頂いています。また、教室開始時から、毎日体重を記録していきますが、教室卒業後何年も続け、「こういう食事をすると増える」、「雨で運動できないと増える」など、自分の生活と体重の変化を追い続け傾向をつかんでいる人もいます。

今後は、7年続けてきた中でわかってきたことを、教室だけでなく他の健康づくり事業にも生かしていきたいと思っています。





# 令和3年度における 国保事業会計収支状況について

## 神奈川県健康医療局保健医療部医療保険課保険者指導グループ

国民健康保険(以下「国保」という)制度は、国民皆保険制度の中核として地域住民の健康増進に長年寄与していますが、他の医療保険制度と比較して高齢者や低所得者の加入割合が高く、財政基盤が脆弱であるという構造的な問題を抱えています。

こうした財政上の構造的な問題の解決に向け、平成30年度に国保制度改革が行われ、3400億円の公費が投入されるとともに、市町村国保の財政運営の責任主体を都道府県が

担うことになり、県に「神奈川県国民健康保険事業会計」を特別会計として新たに設置しました。

令和3年度は制度改革から4年目となりますが、新型コロナウイルスの感染が拡大し、受診控えによって医療費が減少した令和2年度の反動により、医療費が大きく増加するなど、コロナ禍における難しい財政運営となりました。

以下、収支状況の概要と今後の財政運営の課題について、令和4年11

月段階で取りまとめた令和3年度の国民健康保険事業報告書B表をもとに、市町村、国保組合、県それぞれについて見ていくこととします。なお表示している数字は、単位未満を四捨五入した数字であり、概数であることについてご承知おきください。

### 1 市町村の

#### 国民健康保険特別会計

歳出8263億円となり収支は203億円の黒字となりました。令和2年度と比べると、歳入は343億円(4%)増加、歳出は322億円(4%)増加で、収支は21億円(11%)の黒字幅の増加となりました。

また、決算補填等目的の法定外の一般会計繰入金を除いた収支は、138億円の黒字となっています。

歳入においては、被保険者数が年度間平均で175万人と令和2年度に比べ3万人(2%)減少したことも



あり、保険料収入が1849億円との予測が難しくなっています。

11億円(1%)減少しているものの、保険給付費の増加に伴い、県から交付される普通交付金が313億円(6%)増加したことにより、全体としては増加しています。

なお、法定外の一般会計繰入は、162億円と令和2年度に比べ10億円(6%)減少しています。法定外繰入のうち、決算補填等目的の法定外繰入は65億円と21億円(24%)減少しています。

一方で、歳出においては、令和2年度の受診控えの反動等によって、保険給付費が5626億円と前年度から309億円(6%)の大幅な増加となつています。

新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和2年度から令和3年度にかけて保険給付費が大きく増減するなど、例年とは異なる傾向で推移しており、予算編成時点での保険給付費

の影響が無い令和元年度と比較すると、被保険者数は8万人(4%)減少していますが、歳出は160億円(2%)の減少に留まっており、1人当たり保険給付費の増加によって、歳出の減少率が鈍化しています。

このような1人当たり保険給付費の増加傾向は、今後も継続すると考えられることから、依然として市町村の国保財政にとって厳しい状況が続いています。

併せて、特例基金や国特別調整交付金による制度改正に伴う激変緩和措置が今後縮小されていきます。そうした中、保険給付費等の増も含め、国保事業費納付金については今後、大きく変動することも考えられ、保険料負担の年度間平準化については、市町村の財政調整基金の活用が必要になってきています。

### 令和3年度 県内市町村全体の国保特別会計の収支状況等

(単位:円)

区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	前年度比較		前々年度比較	
	①	②	③	① - ②	① / ②	① - ③	① / ③
歳入	846,626,477,848	812,369,070,124	852,931,025,908	34,257,407,724	4%	▲ 6,304,548,060	▲ 1%
歳出	826,337,835,241	794,139,945,131	842,312,094,260	32,197,890,110	4%	▲ 15,974,259,019	▲ 2%
歳入 - 歳出 A	20,288,642,607	18,229,124,993	10,618,931,648	2,059,517,614	11%	9,669,710,959	91%
決算補填等目的の法定外繰入金 B	6,512,874,858	8,579,510,214	14,868,282,825	▲ 2,066,635,356	▲ 24%	▲ 8,355,407,967	▲ 56%
A - B	13,775,767,749	9,649,614,779	▲ 4,249,351,177	4,126,152,970	43%	18,025,118,926	-
被保険者数	1,752,916	1,786,723	1,829,726	▲ 33,807	▲ 2%	▲ 76,810	▲ 4%



市町村においては、適正な保険料

賦課、収納率向上、医療費適正化に加え、保険者努力支援制度交付金の獲得に向けた取組みを強化するとともに、財政調整基金の積立てなど、市町村ごとの状況に応じた財政基盤の安定に向け、引き続き取組むことが求められています。

## 2

### 国民健康保険組合の会計

国保組合の財政規模は、歳入で50億5千万円、歳出で47億4千万円、収支は31億円の黒字となりました。令和2年度に比べ、歳入では22億円(5%)増加、歳出で57億円(14%)増加となり、結果として収支で見ると35億円(53%)の黒字幅の減少となっています。

歳入では、被保険者数が年度間平均で13万1千人と令和2年度に比べ1千人(1%)減少したものの、保険料収入は257億円と42億円(20%)

の増加となりました。

その一方で、療養給付費等負担金が163億円と8億円(5%)減少し、国庫支出金が171億円と26億円(13%)の減少となりました。

歳出では、保険給付費は230億円と19億円(9%)増加し、前期高齢者納付金は39億円と3億円(8%)の増加、後期高齢者支援金は80億円と1億円(1%)の増加、介護納付金も41億円と1億円(3%)増加しています。

新型コロナウイルス感染症の影響や組合員数の減少、定率国庫負担の段階的削減など、国保組合をとりまく状況は厳しい状況にあります。保険料の適正賦課をはじめ医療費適正化対策の充実強化など、国庫補助金の獲得も図りながら安定した財政運営の確立に向けた取組みが求められています。

## 3

### 神奈川県国民健康保険事業会計

予定となっています。

令和3年度の県国保事業会計は黒字となりましたが、今後の新型コロナウイルスの流行に伴う国保財政への影響や保険給付費等の伸び、保険者努力支援制度や財政調整交付金など拡充された国公費の獲得状況等、より一層厳しい財政運営が予想されます。

当初予算との対比で見ると、歳入では、療養給付費等負担金が1497億円と137億円(10%)の増加となり、歳出では、市町村の保険給付費に対する県の負担金である普通交付金が585億円と125億円(2%)の増加となりました。こうした増減要素の結果、当初予算に対する歳入総額が436億円の増加、歳出総額が360億円の増加となり、これにより76億円の黒字が生じました。

なお、決算剰余額の76億円は、療養給付費等負担金や高額医療費負担金等の精算のための財源に全額充てる





# 健康行動を妨げるもの

北海道立旭川高等看護学院 非常勤講師

松本 千明

健康により行動を行う可能性を高める要因が存在する一方で、健康により行動を行うことを妨げる要因も存在します。健康により行動を行うことを妨げる要因は、大きく分けて個人的要因と環境的要因のふたつに分けることができます。

例えば運動について言えば、運動することを妨げる個人的要因としては、「忙しくて時間がない」「運動は退屈そう」「足腰が痛い」などが考えられます。運動することを妨げる環境的要因としては、「天気が悪くて外で運動できない」「運動するのに適当な場所がない」などが考えられます。

ある人が健康により行動を行う可能性を高めるには、その人にとってその行動を行うことを妨げている要因をできるだけ減らす(除く)必要があります。

上記の例で言えば、個人的要因として「忙しくて時間がない」のであれば新しく運動のための時間を作るのではなく、忙しい日常の中に運動を組み入れるとか(例…意識して階段を使う)、「運動は退屈そう」であれば楽しくできる運動を探したり、「足腰が痛い」のであれば足腰に負担のかからない運動を探すことが勧められます。また環境的要因は個人の力ではどうしようもない場合もあります

が、例えば「天気が悪くて外で運動できない」場合は室内でできる運動をすることも可能です。

一般にある人において、健康により行動を行う可能性が高くなるには、その人にとってその行動を行うことのメリットと妨げを比べた場合、メリットの方が妨げよりも大きいと感じられる必要があります。

この考えに基づいて運動を行う可能性を高めるには、まず運動についてどんなメリットと妨げを感じているか、リストアップしてみることで、そしてメリットとして挙げたもののうち、特に自分にとって重要だと思われるものについて情報を集めることで、メリットに対する認識を強めます。次に妨げとして挙げたものうち、特に自分にとって強い妨げになっていると思うものについて、それを減らす(除く)工夫をすることです。

そうすることで運動のメリットと妨げのバランスがメリット側に傾き、運動を行う可能性が高まると考えられます。

eヘルスネット

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/exercise/s-07-004.html>

厚生労働省

健康行動の  
メリット

健康行動の  
妨げ



## 国際社会保障協会（ISSA）総会

日本年金機構 副理事長（元厚生労働事務次官） 樽見 英樹

ISSA総会で感じた  
他国との違い

10月の24日から28日まで、モロッコのマラケシュで国際社会保障協会（ISSA）の総会が開かれた。その一部ではあったが、筆者もこれに出席する機会に恵まれたので、今回はそこで思ったことをご報告したい。

この会まで6年間ISSA会長を務めたドイツのブローイヤー氏が挨拶で述べていたコメントが印象的だった。「十数年前には、社会保障で一週間も国際会議？と言われたものだが、今や各国の大臣レベルの出席も得て社会保障の役割を論じ合うのが何の不思議もないことになった」

その背景の一つが新型コロナウイルスのパンデミックだったというのも、日本国内だけで見落としがちなことだと思う。確かに、医療保障、雇用保障、所得保障の在り方が政権の在り方そのものを左右するインパクトを持つということを改めて経験したのが、今回のパンデミックだったのだ。我が国でも雇用調整助成金の枠組みが実は事業者に対する助成の最大のチャネルであったということも注目されてよいと思うし、厚生年金や国民年金の保険料の特例は、政府の機能というものを負担と給付のバランスの中でどう位置付けるかということの一つのレッスンだった。

めをかけるかに各国とも努力しているということも、今更ながら勉強になった。我が国と対策のメニューはそう変わらない。男性の育児休業を進めていますなんて、どこかで聞きましたねという感じだが、そして成果もさほど違わないとも言えるものだが、何と言うか、議論のスピードと徹底度の感じが違うのだ。これは社会保障の関係者が参加する会議だからなのかどうか。我が国がプレゼンするとしたらどうしただろうかと思う。

同時に、この出生率や女性の活躍の問題を含めて、社会保障における横の連携ということ、つまり、雇用保障、高齢者介護、障害者の所得保障、医療保障などの各制度について、相互の効果と限界を見極めつ



つ、全体として機能する仕組みをどうつくるかという視点が、複数の議論の中で出てきたのもまさにその通りと言いたくなった。各国ともそれぞれ特色のある社会保障制度の歴史を重ねながら、同じような課題に直面しているのだ。

我が国に求められていること

実務的な面では、デジタル技術をいかに活用してお客様サービスと能率とを更に向上させるかということが、何と言っても共通する関心事であったように思う。医療でも年金でも、社会保障制度の運営には膨大な情報処理を伴う。同時にその情報は基本的に個人情報であり、秘匿されるべき要請が極めて強い。こうした中で、進歩するデジタル技術の強みをどう活かして、医療の質や、保険業務の正確性、お客様との接点となる各種業務の能率とサービスの向上を図っていくべきか、ということである。

会議に参加している期間中、「我が国ではこういうシステムやアプ

リを開発しました」という売り込みを受けることも多かった。率直に言って、単純な制度を持つところ、個人情報に対する社会的な意識が寛容なところは羨ましいなと思うところはある。けれど、我が国でも、もつと多くの領域で、デジタル技術を駆使したサービス向上や能率向上は図られなければならないし、できるはずである。

この点でもやはり、我が国において、もつとスピード感と徹底度を持った議論が行われてしかるべきだろうと思わないではいられなかった。私の奉職する日本年金機構でも「オンラインビジネスモデルの構築」を重要課題として取り組んでいるが、医療において取り組める領域はより広いと思う。医療保険の各保険者にとつても、むしろこれを一種のビジネスチャンスととらえて、更に積極的に取り組むことが求められていると言えるのではないだろうか。

記事提供 社会保険出版社



樽見英樹 たるみ ひでき

■プロフィール  
出身地：千葉県  
1959年11月21日

- ・日本年金機構 副理事長
- ・元厚生労働事務次官

■学歴 東京大学法学部 卒業

- 職歴
- 1983/4 厚生省入省
  - 1993/5 在米国日本国大使館一等書記官
  - 1998/4 北海道保健福祉部高齢者保健福祉課長
  - 2004/7 総務省行政管理局管理官
  - 2008/7 社会保険庁総務部総務課長
  - 2012/9 厚生労働省大臣官房人事課長
  - 2013/7 厚生労働省大臣官房年金管理審議官
  - 2016/6 厚生労働省大臣官房長
  - 2018/7 厚生労働省保険局長
  - 2019/7 厚生労働省医薬・生活衛生局長
  - 2020/3 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長
  - 2020/9 厚生労働事務次官
  - 2021/10 厚生労働省退官
  - 2022/1 日本年金機構 副理事長



## 第62回全国国保地域医療学会

9月16日(金)、17日(土) かずさアカデミアホール(千葉県)

コロナ・自然災害時代のニューノーマルを見据えたこれからの地域医療構想、地域包括医療・ケアの展望  
～ 地方再生こそ、日本の未来を担う～

9月16日、17日の2日間にわたり、第62回全国国保地域医療学会が、千葉県「かずさアカデミアホール」において開催された。

今回のメインテーマ『コロナ・自然災害時代のニューノーマルを見据えたこれからの地域医療構想、地域包括医療・ケアの展望～地方再生こそ、日本の未来を担う～』のもと、国保直診の発展・充実のため特別講演・国保直診開設者サミット・シンポジウムなどが行われた。



### 9月16日(金) <1日目>

#### 特別講演

**演題** チバニアンと房総の地質  
**講師** 岡田 誠 茨城大学理学部教授、チバニアン申請チーム代表  
**司会者** 海保 隆 第62回全国国保地域医療学会会長、千葉県国保直営総合病院君津中央病院病院長

#### 国保直診開設者サミット

**演題** 新興感染症、大規模自然災害、人口減少社会を見据えたこれからの地域医療構想と地域包括医療・ケアのあり方～ Covid-19、地震・豪雨・台風災害を経験して～  
**司会者** 藤本 昭夫 全国国民健康保険診療施設協議会開設者委員会委員長、大分県姫島村長  
海保 隆 第62回全国国保地域医療学会会長、全国国民健康保険診療施設協議会副会長  
千葉県国保直営総合病院君津中央病院病院長  
**助言者** 高木 有生 厚生労働省保険局国民健康保険課課長  
**発言者** 岩田 利雄 千葉県東庄町長、千葉県国民健康保険団体連合会理事長  
公益社団法人千葉県国民健康保険直営診療施設協会会長  
太田 洋 千葉県いすみ市長、千葉県国民健康保険団体連合会副理事長  
保科 郷雄 宮城県丸森町長  
**特別発言者** 三枝 智宏 全国国民健康保険診療施設協議会常務理事、静岡県浜松市国民健康保険佐久間病院病院長  
原 勝則 国民健康保険中央会理事長

### 9月17日(土) <2日目>

#### シンポジウム

**演題** “まったなし!”の医師働き方改革 ～それぞれの地域における医師働き方改革へのチャレンジ～  
**司会者** 尾形 章 第62回全国国保地域医療学会副会長、千葉県松戸市立総合医療センター病院長  
大原 昌樹 全国国民健康保険診療施設協議会副会長、日本地域医療学会理事・専門医制度委員会委員長  
香川県綾川町国民健康保険陶病院病院長  
**助言者** 坪井 宏徳 厚生労働省医政局医事課 医師・看護師働き方改革推進官、労働基準局労働条件政策課 医療労働企画官  
**発言者** 野村 幸博 千葉県地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院病院長  
安藤 聡 第62回全国国保地域医療学会副会長、千葉県大網白里市立国保大網病院病院長  
黒木 嘉人 全国国民健康保険診療施設協議会常務理事、岐阜県国民健康保険飛騨市民病院管理者兼病院長  
**特別発言者** 島崎 謙治 国際医療福祉大学大学院教授

#### ■ 神奈川県からの研究発表

テーマ	発表者
外来心臓リハビリテーションを継続できる要因分析	小田原市立病院 佐須 千尋
新型コロナウイルス感染症の重症例に対する V-VECMO の経験	小田原市立病院 三浦 歩

※ 第63回 全国国保地域医療学会は、令和5年10月6日～7日 福井県アオッサ・ハピリンホールにて開催予定



# 国保制度改善強化全国大会

11月18日(金) 砂防会館



東京・砂防会館にて、全国の国民健康保険関係9団体主催のもと、「国保制度改善強化全国大会」が開催され、全国から市町村長、都道府県を含む国民健康保険関係者が集結した。

はじめに、全国知事会事務総長の中島正信氏が開会の辞を述べた。

次に、主催者代表として国保中央会会長の岡崎誠也氏が挨拶に立ち、少子高齢化が進む中で、医療費の増加はもとより低所得者の増加による構造的な問題は続いており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、国保の事業運営は今後も厳しい状況が続くことが見込まれる。そこで、国に対し新国保制度を安定的に運営するための大前提である毎年度3,400億円の公費投入の確実な実施を強く要望した。

政府からの来賓挨拶の後、議事に移り、三重県伊勢市長の鈴木健一氏が新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国保制度の安定運営を図るために、医療・保健・介護の人材の確保及び地域医療を守る公立病院等の医療提供体制を確保できるよう、地方自治体及び国保連合会に対して必要な支援措置を講じることなど11項目の決議案を読み上げ、満場一致で採決された。

最後に、島根県議会議長の田中八洲男氏が閉会の辞を述べ、大会は閉幕した。

大会終了後には、神奈川県国保保険者として、大会にて採決された決議の実現に向け、3班に分かれ、衆議院第一議員会館、衆議院第二議員会館、参議院議員会館へ向かい、神奈川県選出の国会議員を中心に陳情を行った。



国保中央会会長 岡崎誠也氏



参議院議員 三原じゅん子事務所 顧問 橋本良一氏(右)



国民健康保険事業への多年にわたる貢献を称え、  
 本県では次の方々が表彰されました。  
 表彰者の皆さま、おめでとうございます。



### 令和4年度 国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 星 野 美樹朗 | 神奈川県食品衛生国民健康保険組合専務理事          |
| 大 窪 有 子 | 神奈川県横浜市緑区福祉保健センター保険年金課滞納整理事務員 |
| 土 肥 直 樹 | 神奈川県相模原市国民健康保険内郷診療所所長         |
| 森 田 一 彦 | 神奈川県横浜市瀬谷区福祉保健センター保険年金課専任職    |
| 山 本 裕 司 | 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会会長         |
| 柴 森 豊   | 神奈川県国民健康保険団体連合会介護福祉部長         |

### 令和4年度 神奈川県国民健康保険事業功労者表彰

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 川 村 典 夫 | 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員 |
| 坂 本 洋   | 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員 |
| 阿 部 正 隆 | 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員 |
| 小 川 雅 永 | 神奈川県国民健康保険団体連合会情報管理部長 |

### 令和4年度 国民健康保険中央会表彰

- |         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 内 野 優   | 神奈川県国民健康保険団体連合会理事長              |
| 藤 井 俊 治 | 神奈川県山北町国民健康保険運営協議会委員            |
| 鵜 木 祥 子 | 神奈川県横浜市港北区福祉保健センター保険年金課事務職員     |
| 小 川 恵 美 | 神奈川県横浜市港北区福祉保健センター保険年金課事務職員     |
| 照 井 忠 明 | 神奈川県横浜市磯子区福祉保健センター保険年金課事務職員     |
| 竹 川 聡 彦 | 神奈川県横浜市磯子区福祉保健センター保険年金課事務職員     |
| 岡 村 千代子 | 神奈川県横浜市港南区福祉保健センター保険年金課会計年度任用職員 |
| 山 田 陽 子 | 神奈川県横浜市神奈川区福祉保健センター保険年金課事務職員    |
| 宮 川 京 子 | 神奈川県川崎市宮前区役所保険年金課主任             |
| 上 野 智 行 | 神奈川県川崎市多摩区役所保険年金課担当係長           |
| 永 井 輝 明 | 神奈川県相模原市国民健康保険青根診療所所長           |
| 村 中 清一郎 | 神奈川県相模原市国民健康保険日連診療所所長           |
| 進 藤 厚 子 | 神奈川県平塚市民病院看護科長代理兼看護師長           |
| 池 内 哲   | 神奈川県小田原市立病院診療部消化器内科主任部長         |
| 小 池 和 幸 | 神奈川県小田原市立病院上級理学療法士              |
| 大 澤 貴 子 | 神奈川県小田原市立病院上級理学療法士              |
| 佐々木 毅   | 神奈川県小田原市立病院看護師長                 |
| 長 嶋 芳 子 | 神奈川県小田原市立病院上級看護師                |
| 府 川 裕 子 | 神奈川県小田原市立病院上級看護師                |



令和4年度 国民健康保険中央会表彰

楠田陽子	神奈川県小田原市立病院上級看護師
鈴木智章	神奈川県小田原市立病院上級看護師
藤井智香子	神奈川県小田原市立病院上級看護師
藤田麻理	神奈川県小田原市立病院上級看護師
小倉里美	神奈川県小田原市立病院上級看護師
道野亜希	神奈川県小田原市立病院上級看護師
瀬戸亜希子	神奈川県小田原市立病院上級看護師
荻野妙子	神奈川県小田原市立病院上級看護師
江口紀子	神奈川県小田原市立病院上級看護師
庄司奈美	神奈川県小田原市立病院上級助産師
斉藤亨	神奈川県茅ヶ崎市立病院看護師主査
齊藤陽子	神奈川県茅ヶ崎市立病院薬剤師主査
安部要藏	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
一色聡一郎	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
有馬正明	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
田村哲郎	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
蔵並貴子	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
厚川和裕	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
福井和樹	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
猿渡力	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
石井貴士	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
池上秀明	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
鈴木敏行	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
阿部正隆	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
高橋篤史	神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第三課調剤係副主幹
青木雅人	神奈川県国民健康保険団体連合会企画事業部保健事業課保健事業係副主幹
呉竹彩子	神奈川県国民健康保険団体連合会審査管理部審査管理課審査管理係副主幹
可香谷修一	神奈川県国民健康保険団体連合会介護福祉部介護保険課介護管理係副主幹
尾崎芳弘	神奈川県国民健康保険団体連合会審査管理部審査管理課審査指導係副主幹
高橋力弥	神奈川県国民健康保険団体連合会企画事業部企画事業課求償係副主幹
可香谷未来	神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第四課療養費係副主幹
大嵩泰弘	神奈川県国民健康保険団体連合会企画事業部保健事業課特定健診係副主幹
清水憲治	神奈川県国民健康保険団体連合会出納室出納係副主幹
山崎章	神奈川県国民健康保険団体連合会審査管理部審査調整課支払調整係副主幹
三木礼雄	神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第一課第一係副主幹
足立敬吾	神奈川県国民健康保険団体連合会審査管理部審査管理課審査指導係副主幹
和泉順哉	神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第一課第三係副主幹
加藤卓大	神奈川県国民健康保険団体連合会審査管理部審査調整課支払調整係副主幹

(順不同敬称略)

診療（調剤）報酬実績【国民健康保険】

《8月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %
1,837,997	診療費	入 院	27,068	397,536	17,481,091,820	645,821	1.47
		入院外	1,271,357	1,910,305	21,046,712,770	16,555	69.17
		歯 科	293,478	478,236	3,925,937,530	13,377	15.97
	小 計	1,591,903	2,786,077	42,453,742,120	26,669	23,098	86.61
	調 剤	937,740	1,097,452	11,021,287,940	11,753	5,996	
	訪 問 看 護	8,427	61,165	724,513,540	85,975	394	
	食事療養費	25,119	1,028,838	681,541,906	27,133	371	
	合 計	2,538,070	2,847,242	54,881,085,506	21,623	29,859	

《9月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,828,353	診療費	入 院	28,716	414,183	18,431,324,020	641,849	1.57	
		入院外	1,267,957	1,909,245	20,581,907,670	16,232	11,257	69.35
		歯 科	307,808	505,005	4,174,980,780	13,564	2,283	16.84
	小 計	1,604,481	2,828,433	43,188,212,470	26,917	23,621	87.76	
	調 剤	926,889	1,079,549	10,994,849,340	11,862	6,014		
	訪 問 看 護	8,561	59,742	709,859,980	82,918	388		
	食事療養費	26,722	1,071,344	709,766,073	26,561	388		
	合 計	2,539,931	2,888,175	55,602,687,863	21,891	30,411		

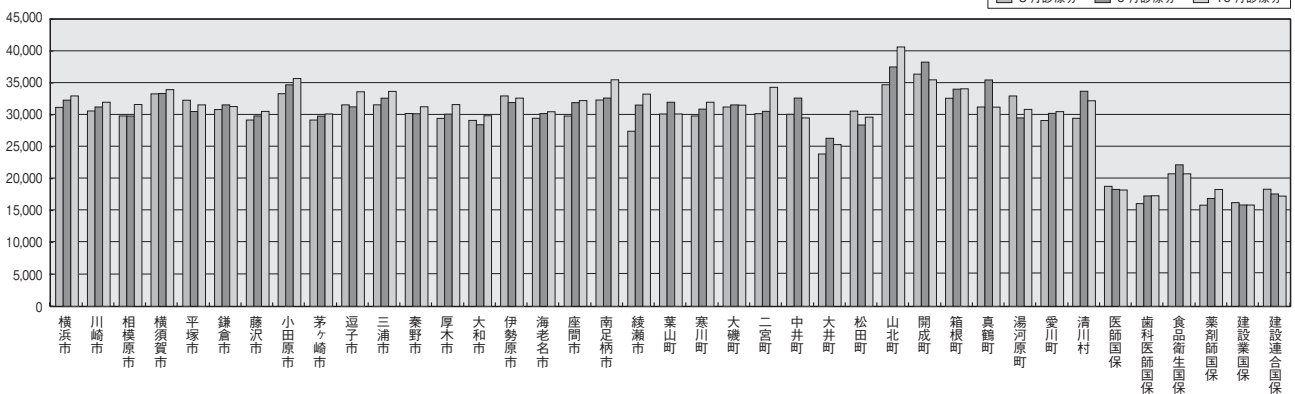
《10月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,822,103	診療費	入 院	30,028	438,593	19,664,781,820	654,882	1.65	
		入院外	1,271,688	1,922,503	20,443,372,140	16,076	11,220	69.79
		歯 科	317,480	530,253	4,367,361,620	13,756	2,397	17.42
	小 計	1,619,196	2,891,349	44,475,515,580	27,468	24,409	88.86	
	調 剤	929,023	1,081,685	10,785,514,880	11,610	5,919		
	訪 問 看 護	8,338	58,283	692,630,990	83,069	380		
	食事療養費	28,055	1,135,899	752,373,422	26,818	413		
	合 計	2,556,557	2,949,632	56,706,034,872	22,181	31,121		

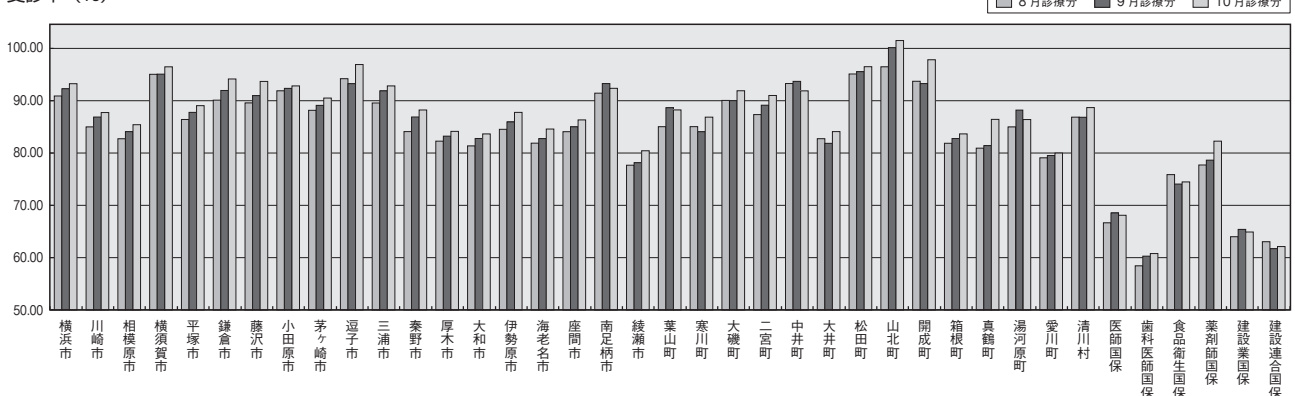
※ 件数の合計に食事療養費は含まない ※ 日数の合計に調剤・食事療養費は含まない

【保険者別1人当たり費用額（一般+退職）】 ※ 1人当たり費用額とは、医療費用総額を被保険者数で除したものである。

1人当たり費用額（円）



【保険者別受診率（一般+退職）】 ※ 受診率とは、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表し、当該月の診療報酬明細書（レセプト）枚数を当該月末の被保険者数で除したものである。





診療(調剤)報酬実績【後期高齢者医療】

《8月診療分》

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,217,775	診療費	入 院	53,029	839,304	35,164,412,580	663,117	28,876	4.35
		入院外	1,583,255	2,607,837	28,051,634,700	17,718	23,035	130.01
		歯 科	280,996	475,104	3,955,546,840	14,077	3,248	23.07
	小 計	1,917,280	3,922,245	67,171,594,120	35,035	55,159	157.44	
	調 剤	1,242,078	1,544,354	16,044,362,420	12,917	13,175		
	訪問看護	9,139	85,362	1,155,801,205	126,469	949		
	食事療養費	48,569	1,993,949	1,352,107,662	27,839	1,110		
	合 計	3,168,497	4,007,607	85,723,865,407	27,055	70,394		

《9月診療分》

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,222,812	診療費	入 院	56,950	876,426	37,472,550,820	657,990	30,645	4.66
		入院外	1,646,789	2,710,461	28,628,560,090	17,384	23,412	134.67
		歯 科	308,597	529,985	4,436,186,840	14,375	3,628	25.24
	小 計	2,012,336	4,116,872	70,537,297,750	35,052	57,684	164.57	
	調 剤	1,274,176	1,573,014	16,152,749,550	12,677	13,210		
	訪問看護	9,251	84,731	1,142,126,640	123,460	934		
	食事療養費	52,398	2,076,959	1,409,620,759	26,902	1,153		
	合 計	3,295,763	4,201,603	89,241,794,699	27,078	72,981		

《10月診療分》

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,227,990	診療費	入 院	60,933	948,668	41,536,750,630	681,679	33,825	4.96
		入院外	1,615,191	2,680,418	28,280,009,280	17,509	23,030	131.53
		歯 科	315,996	554,092	4,524,388,750	14,318	3,684	25.73
	小 計	1,992,120	4,183,178	74,341,148,660	37,318	60,539	162.23	
	調 剤	1,239,441	1,520,635	15,669,837,820	12,643	12,761		
	訪問看護	8,632	80,294	1,105,612,225	128,083	900		
	食事療養費	56,042	2,246,017	1,524,263,585	27,199	1,241		
	合 計	3,240,193	4,263,472	92,640,862,290	28,591	75,441		

※ 件数の合計に食事療養費は含まない ※ 日数の合計に調剤・食事療養費は含まない

介護給付費の状況

介護給付費統計

(令和4年8月審査分)

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪問通所サービス	415,257	18,763,307,153	16,534,293,714	1,773,897,268	455,116,171
短期入所サービス	18,435	2,088,934,532	1,766,864,155	308,393,550	13,676,827
居宅療養管理指導	187,413	1,521,818,380	1,335,660,999	146,136,458	40,020,923
地域密着型サービス	69,655	10,124,431,354	8,950,767,932	976,214,693	197,448,729
特定施設入居者生活介護	24,854	5,786,597,568	5,019,358,370	744,387,266	22,851,932
居宅介護支援	227,150	3,154,842,652	3,154,842,651	0	25,536,508
施設サービス	56,645	20,436,244,583	17,174,932,507	3,111,171,257	150,140,819
市町村特別給付	64	366,160	329,544	36,616	0
合 計	999,473	61,876,542,382	53,937,049,872	7,060,237,108	904,791,909

(令和4年9月審査分)

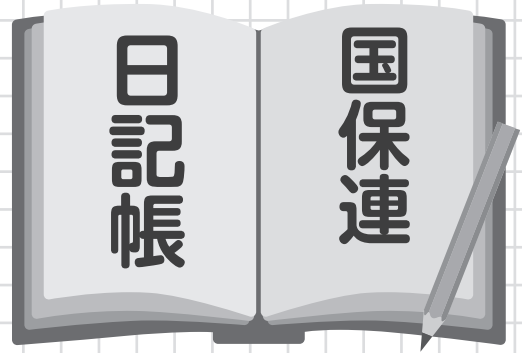
種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪問通所サービス	413,342	18,762,126,428	16,548,445,105	1,753,662,656	460,018,667
短期入所サービス	16,762	1,906,545,523	1,612,800,629	281,317,739	12,427,155
居宅療養管理指導	184,579	1,466,782,860	1,288,666,715	139,002,896	39,113,249
地域密着型サービス	68,480	9,966,800,885	8,815,238,532	961,029,127	190,533,226
特定施設入居者生活介護	24,849	5,776,859,407	5,016,508,357	736,328,083	24,022,967
居宅介護支援	227,748	3,157,297,829	3,157,297,828	0	26,002,465
施設サービス	55,826	20,061,188,888	16,877,051,516	3,036,784,038	147,353,334
市町村特別給付	63	338,480	304,632	33,848	0
合 計	991,649	61,097,940,300	53,316,313,314	6,908,158,387	899,471,063

(令和4年10月審査分)

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪問通所サービス	419,288	19,081,078,709	16,815,313,035	1,814,698,421	451,067,253
短期入所サービス	18,104	2,011,691,981	1,697,583,957	301,918,216	12,189,808
居宅療養管理指導	190,276	1,560,341,720	1,370,072,064	149,999,719	40,269,937
地域密着型サービス	69,801	10,051,055,723	8,880,569,061	982,643,676	187,842,986
特定施設入居者生活介護	25,049	5,648,215,826	4,901,638,338	724,732,747	21,844,741
居宅介護支援	229,053	3,182,195,173	3,182,195,172	0	25,440,700
施設サービス	56,657	19,667,079,187	16,529,740,763	2,988,173,972	149,164,452
市町村特別給付	66	409,350	368,415	40,935	0
合 計	1,008,294	61,202,067,669	53,377,480,805	6,962,207,686	887,819,877



10/28 介護保険サービス苦情処理事務担当者研修会



10月

- |                |               |        |        |                             |               |                  |               |                        |                      |        |               |             |                |          |               |                |               |               |
|----------------|---------------|--------|--------|-----------------------------|---------------|------------------|---------------|------------------------|----------------------|--------|---------------|-------------|----------------|----------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 17日            | 15日           | 15日    | 14日    | 10日                         | 8日            | 7日               | 1日            | 31日                    | 28日                  | 25日    | 25日           | 24日         | 20日            | 20日      | 18日           | 18日            | 11日           | 4日            |
| 柔道整復施術療養費審査委員会 | 介護サービス苦情処理委員会 | 中間監査   | 定例検査   | 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施に関する研修会 | 介護サービス苦情処理委員会 | 運営協議会            | 介護サービス苦情処理委員会 | 神奈川県国民健康保険運営協議会会長等協議研修 | 介護保険サービス苦情処理事務担当者研修会 | 介護保険部会 | 介護サービス苦情処理委員会 | 介護給付費等審査委員会 | 診療報酬審査委員会(25日) | 療養費審査委員会 | 介護サービス苦情処理委員会 | 柔道整復施術療養費審査委員会 | 介護サービス苦情処理委員会 | 介護サービス苦情処理委員会 |
| (国保会館)         | (国保会館)        | (国保会館) | (国保会館) | (Web研修)                     | (国保会館)        | (神奈川県総合薬事保健センター) | (国保会館)        | (Web研修)                | (国保会館)               | (国保会館) | (国保会館)        | (国保会館)      | (国保会館)         | (国保会館)   | (国保会館)        | (国保会館)         | (国保会館)        | (国保会館)        |



10/31 神奈川県国民健康保険運営協議会会長等協議研修





11/25 理事会



11/7 運営協議会

12月

11月

- |  |  |
|--|--|
| <p>27日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)</p> <p>21日 介護給付費等審査委員会 (国保会館)</p> <p>20日 第44回(令和4年)地域保健師研究発表会 (小田原合同庁舎)</p> <p>20日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)</p> <p>19日 療養費審査委員会 (国保会館)</p> <p>17日 診療報酬審査委員会(22日) (国保会館)</p> <p>16日 柔道整復施術療養費審査委員会 (国保会館)</p> <p>13日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)</p> <p>6日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)</p> <p>5日 療養費等審査支払事務処理検討会及び担当者会議 (Web会議)</p> | <p>29日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)</p> <p>28日 保険者事務電算共同処理委員会 (国保会館)</p> <p>25日 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業 課題別研修会及び市町村保健師研修会 (Web研修)</p> <p>25日 理事会 (神奈川県総合薬事保健センター)</p> <p>22日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)</p> <p>22日 介護給付費等審査委員会 (国保会館)</p> <p>19日 診療報酬審査委員会(24日) (国保会館)</p> <p>18日 国保制度改善強化全国大会 (砂防会館)</p> <p>18日 療養費審査委員会 (国保会館)</p> |
|--|--|



12/5 療養費等審査支払事務処理検討会及び担当者会議



11/28 保険者事務電算共同処理委員会



新しい働き方に。

さまざまな職場の課題にも。

リモートやオンライン、

テレワークの活用によって、

きっとポジティブな解決が見つかります。

ICT、情報通信技術で、地域とともに。

NTT東日本に、ご相談ください。

# ICTる?

 **NTT東日本**



DXの第1歩はRPAから

# RPA 選べる!! 無料セミナー

お客様アンケートにて高い評価を得ている当 RPA セミナー  
DX へ向けた業務改善をお考えの方にピッタリです

概要編

業務自動化なら  
横浜電算とロボットに  
おまかせください

具体事例編

ロボットを使って  
ハッピーになるう

## 横浜電算セミナーは、ここが違う

- 毎週開催で気軽に参加でき、RPA の”今”が分かる。
- 営業 兼 技術者の講師が担当、RPA ライフサイクルの全般質問に回答。
- 参加が1社の場合、双方向コミュニケーションで知りたいところだけ学べる。

## セミナー開催要綱

開催日 毎週金曜日（※一部 曜日変更する場合がございます）

時間 各回 16:00 ~ 17:00

開催方法 Zoom ウェビナー

募集締切 毎回 前々日 17:00 まで

- ▶ 日本国内どこからでも参加可能！  
（同業他社のお客様はお断りする場合がございます）
- ▶ 参加社が1社の場合は、ご要望に合わせて内容変更いたします。

各回の内容は、  
Web サイトをご確認ください！

お申込みもこちらから

## お問い合わせ

横浜電算 RPA セミナー 

 株式会社 **横浜電算**

事業統括本部

ビジネスソリューション部

〒220-0003  
神奈川県横浜市西区楠町4-7

TEL: 045-311-7581 FAX: 045-311-4862

MAIL: eigyou@yokohamadensan.co.jp



## ○ 今後の予定 ○

2月

2日	運営協議会	未定
14日	理事会	県民センター
27日	通常総会（予定）	県民センター

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から変更される場合があります。

## ● 伝 ● 言 ● 板 ●

# 健康劇（健康まつり事業等支援事業）

本会では、保険者を支援する保健事業として健康劇（健康まつり事業等支援事業）があります。神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の“いちょう座”が上演しており、住民の方々に寸劇をおとして健康教育を行うことを目的としております。シナリオは、全6作品です。興味のある保険者は本会保健事業課までお問い合わせください。

〈シナリオ〉 .....

1. 演 目：「家族みんなで骨元気！」（骨粗しょう症）
2. 演 目：「あなたの血管、元気？」（動脈硬化）
3. 演 目：「特定健診、受けて知ろう自分のからだ  
— 転ばぬ先の健康チェック！ —」  
① 主婦編      ② 自営業の主人編  
③ 子育て中のママ編
4. 演 目：「糖尿病予備群。脱出、成功!!」（糖尿病）



◆ あなたの血管元気? ◆

問い合わせ先：保健事業課 保健事業係      TEL. 045-329-3462（直通）

## 編集後記

あけましておめでとございます。皆さんはどのような年末を過ごしましたか。久しぶりに制限等が解除された年末、帰省や旅行を楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか。

私は以前からずっと行きたいと思っていた伊勢神宮にお礼参りに行ってきました。事前に参拝順序や作法を調べ、外宮から内宮の順でお参りをしました。外宮、内宮共に空気がピンと張りつめていて神聖な雰囲気が出ており、背筋が伸びる思いでした。境内はとても広く全ては周りきれなかったため、次回行った際は今回周ることができなかつたところにも行ってみたいと思います。

お参りを済ませた後は、内宮の近くにあるおかげ横丁で食べ歩きを楽しみました。初めて食べる伊勢うどんはとても美味しく、念願であった赤福本店にも行くことができ満喫することができました。

次の日は名古屋の名物をたくさん食べ、終わってみると食い倒れの旅になってしまいました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

年末にお参りができたことで、気持ちよく新年を迎えることができました。今年も良い年になることを信じて、一日一日を過ごしていきたいです。



# 健康測定機器等の貸出のご案内

本会では国保保険者の皆さまを対象に（※）健康測定機器等の貸出事業を無償でおこなっております。健康まつり、健康教育等の機会では是非ご利用ください。

※ 国保主管課及び保健師主管課のみ対象です。

今回ご紹介する機器は

## 「足指力計測器」

下肢筋力・足部機能の状態を測定します。

歩行機能低下や転倒予防などに役立ちます。

測定

今回体験したのは  
本会職員のS.Yさん!



結果

1.8kg  
がんばろうグループ

### ● 体験者の感想 ●

以前からすり足で歩く癖があり、よくつまずいてしまうので今回の結果にも納得でした。保健師の方に教えていただいたトレーニングを行ったり、歩く量を増やしたりして改善していきたいと思います。

足指力	評価
男性 3kg以下の人 女性 2.5kg以下の人	<b>がんばろうグループ</b> 足指・足裏筋力の低下。扁平足など足部機能の低下の傾向
男性 3~5kgの人 女性 2.5~4kgの人	<b>いい感じグループ</b> 標準的。下肢機能低下の可能性あり
男性 5kg以上の人 女性 4kg以上の人	<b>上出来グループ</b> 良好

### ● お申し込み ●

国保連合会ホームページ『国保保険者のみなさまへ』から「健康測定機器等の貸出状況」で空き状況を確認し、国保連合会保健事業係に電話で仮予約をおこなってください。

※ 貸出は6カ月前から仮予約できます。（『国保保険者のみなさまへ』にはID・パスワードが必要です）

ホームページアドレス <https://www.kanagawa-kokuho.or.jp>

検索

お問い合わせ先

保健事業課 保健事業係 045-329-3462（直通）

Eメールアドレス [hoken@kanagawa-kokuho.or.jp](mailto:hoken@kanagawa-kokuho.or.jp)



# 住民向け啓発冊子のご案内

## ●マイナンバーカードの健康保険証利用促進に



もう利用しましたか？  
**マイナンバーカードを健康保険証として利用するのが便利です！**

■A4判／4頁カラー／リーフレット

本体 36円+税



申し込もう！利用しよう！  
**マイナンバーカードを健康保険証として利用するのが便利です！**

■A4判／2頁カラー

本体 22円+税

## ●特定健診の受診勧奨に



509038 国保版  
**毎年受けよう 特定健診**

■B6変型判／8頁カラー／リーフレット

新刊

本体 40円+税



507051  
**健診は一時、病気は一生。あなたも受けなきゃ！ 特定健診**

■A4判／4頁カラー／リーフレット

本体 36円+税

## ●後期高齢者健診の受診勧奨に



508027  
**後期高齢者医療制度にご加入の方へ 75歳以上の方の健康診査のお知らせ**

■A4判／4頁カラー／リーフレット

本体 36円+税

## ●お口の健康に



424021  
**節目を迎えみなさま 歯周病検診へ行きましょう**

■A4判／2頁カラー  
■監修 沼部幸博  
(日本歯科大学生命歯学部 歯周病学講座 教授)

新刊

歯周病検診 受診率UPに

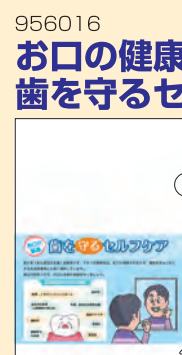
本体 22円+税



424011  
**さあ、はじめよう！ お口の健康管理術**

■A4判／8頁カラー  
■監修 沼部幸博  
(日本歯科大学生命歯学部 歯周病学講座教授)

本体 72円+税



956016  
**お口の健康 歯を守るセルフケア**

■A4対応判 (310×220mm) / 厚さ0.2mm  
■両面カラー / 材質：ポリプロピレン

クリアファイル

本体 100円+税

## ●保健指導に



313051  
**目指せ マイナス2kg・マイナス2cm 体重・腹囲ダブルで改善ナビ**

■A4判／8頁カラー／リーフレット  
■監修 曾我部夏子  
(駒沢女子大学 人間健康学部 教授・博士、管理栄養士、健康運動指導士)

本体 72円+税



408091  
**やせればそれでいいの？ 気を付けたい 女性のやせ**

■A4判／4頁カラー／リーフレット  
■監修 小川真里子  
(東京歯科大学市川総合病院 産婦人科 准教授)

新刊

本体 36円+税



214111  
**1日に160kcal以上減らそう！ コンビニ・スーパー編 <1日に160kcal以上減らそう！ シリーズ>**

■A4判／2頁カラー  
■監修 曾我部夏子  
(駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 教授)

新刊

本体 22円+税

●成人保健分野の一部製品の定価を見直し、値下げを実施しております(□で表示されている価格の製品)。  
※ご検討のため見本をご希望の際は、お気軽にご連絡ください。無償で送付いたします(原則1部)。

お問い合わせ ● 株式会社 社会保険出版社

TEL 03(3291)9841  
東京都千代田区神田猿樂町1-5-18 〒101-0064

